



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年4月30日



防犯灯寄贈目録贈呈式

組合では問屋町内に増設した51基の防犯灯を青森市へ寄贈した。3月30日(水)に青森市役所本庁舎で防犯灯寄贈目録贈呈式が行われ、組合の西理事長が小野寺青森市長へ目録を手渡し、防犯灯増設に至った経緯等について説明した。

組合では、卸団地造成から50年が経過し、卸団地内の各種インフラに経年劣化が見られることから、全国卸商業団地協同組合連合会の卸商業団地機能向上支援事業を活用し、2020年度から2カ年計画で卸団地再整備に向けた道路・歩道劣化調査、交通量調査、夜間照度調査、共同施設等劣化調査の4つの調査事業を実施した。

夜間照度調査では、照度計を用いて歩道表面の明るさを現地計測する方法と現況照明の照度分布を图示する方法を併用し、問題となる暗がり箇所を地図に落とし込んだ。調査により対応が必要な箇所が具現化され、問屋町地区39箇所、第二問屋町地区12箇所LED防犯灯を増設。防犯灯は東北電力及びNTTの協力を得て、既存の電柱に共架することで設置費用低減を図った。設置した防犯灯は、このたびの寄付により青森市に維持管理が移管された。

贈呈式では他に、今回のインフラ調査により経年劣化による補修工事の必要性が判明した「問屋町地区枝線道路の全面アスファルト舗装による整備の実施」及び「組合とのパートナーシップによる街路樹を含む歩道整備の実施」の2つを青森市に対して要望。道路は特に問屋町地区枝線道路の損傷が激しく、歩道は平板ブロックの段差が顕著で安全性に問題のある状況となっている。さらに街路樹は、根による歩道や上下水道の破損、夜間照度の妨げになっている等の現状を西理事長が説明し、早期の対応を改めて依頼した。

青森市に防犯灯寄贈

防犯灯寄贈目録贈呈式

問屋町ビジネススクール開校10周年を祝う



10周年記念講演会



講師に感謝状を贈呈

3月8日(火)に、問屋町ビジネススクール開校10周年を記念して、講演会及び祝賀会がホテル青森で開催された。

同スクールは人材育成を通して地域の中小企業を支援し、地域経済の底上げを図るべく、これまで青森にはなかった常設の企業教育研修機関として2011年10月に開校。受講者を組合員に限定せず、外や個人にも門戸を広げ、10年間で400を超える講座を開催し、受講者数は延べ5千500名を超える。

講演会は商工総合研究所の青木専務理事を講師に招き、「アフターコロナを踏まえた勝ち残り戦略」をテーマに開催。組合員をはじめ市内企業等から47名が参加した。

青木氏は「これからは、従来と変わらない考え方や経営手法では未来を大きく変えられない。経営に論理的な思考を持ち込み、経営環境をみつめ直し、自社の強み・弱みや経営資源を理解したうえで生き残る道を描かなければならない。また、経営を『見える化』し、社員や取引先から理解や支援を得ることも重要である」と話した。

講演会終了後に行われた祝賀会では、西理事長の挨拶に続き、小野寺青森市長、商工組合中央金庫青森支店の長谷川支店長から祝辞が述べられた。次に、問屋町ビジネススクールの講師陣にこれまでの感謝の意を込めて、西理事長から感謝状が手渡された。

続いて、問屋町ビジネススクール運営委員会の柳谷委員長による乾杯の発声で祝宴に入り、祝宴では各講師がこれまで講師を務めてきた感想を述べた。

スクールでは、地域経済の発展に寄与すべく、今後も講師陣の協力を得ながら有益な講座を提供していく。

貸出用具一覧
草刈り機 (本体 2st エンジン)
高圧洗浄機 (延長コード・ホース有)
窓拭きワイパー (長さ 5m・バケツ有)
高枝切りばさみ
刈り込みばさみ
スコップ (丸)・(角)
側溝蓋上げ機
側溝泥すくい (ジョレン)
側溝泥すくいスコップ (大)・(小)
草刈り鎌
窓ホー (草割り)
ホウキ・竹ホウキ・竹熊手
デレキ
チリトリ (文化型、蓋付)・(三つ手型)
二段ハシゴ
脚立 (天板の高さ 3m、2m)
ねこ車

組合では、今年度も組合員を対象に清掃用具の無償貸出を開始した。同サービスは、

清掃用具無償貸出

景観美化推進を目的としてい

エンジンタイプの草刈り機や

高圧洗浄機、側溝泥すくい、

高所用の窓拭きワイパーな

ど、様々な清掃用具を無償で

貸出すことにより、団地内の

清掃用具無償貸出

景観美化推進を目的としてい

る。

清掃用具貸出に関する問い

合わせ先は卸センター業務部

となっております。貸出用具の一

覧や写真については、組合

ホームページにて公開中。ぜ

ひご利用ください。



高所用ワイパーで高い所も楽々お掃除

青森交通安全協会問屋町支部が2021年8月から開催していた問屋町交通安全無事故・無違反コンクールが2022年2月末で終了した。コンクールには28社70チームが参加し、全参加者の運転記録証明書と同支部が代行して取得して期間中の事故及び違反の有無を確認した結果、27社63チームが無事故・無違反を達成した。



最優秀賞チームに賞品贈呈

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

無事故・無違反コンクールが終了

チーム」が最優秀ドライバー賞を受賞、ほか15社が優秀ドライバー賞を手にした。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

同支部では、6月19日に迫った問屋町内交通事故ゼロ9千日達成を目指し、安全運転啓蒙活動を継続する。

包装資材・厨房用品・ユニフォーム
ギフト用品・タオル等の総合商社

株式会社 金竹成家

代表取締役 成家昌弘

青森市問屋町1-7-28 TEL 017(738)4701(代)
FAX 017(738)4706

創業1947年 地域医療の発展に貢献する

株式会社 島津製作所 代理店
富士フィルムメディカル 株式会社 代理店
シーメンスヘルスケア 株式会社 代理店

江渡商事株式会社

本社 〒030-0131 青森市問屋町一丁目11番15号
TEL 017 (738) 4135 FAX 017 (738) 4138
URL <http://etoshouji.co.jp>



青森市問屋町1-7-28 TEL 017(738)4701(代)
FAX 017(738)4706

組合施設の売却など承認 第9回理事会

第9回理事会が3月28日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、2021年度決算予想及び2022年度組合員昼食会の開催について報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一 組合施設の売却について

案件二 組合施設の賃貸並びに新規組合員の加入について

案件三 組合員の組織変更に伴う出資金等の承継について

案件四 2021年度保証基金の精算について

案件五 組合員跡地買取資金の借換について

案件六 役員選挙の理事会推薦について

案件七 2022年度第1回監査会及び理事会の日程等について

理事会終了後には、青森卸センター(株)の第3回取締役会並びに青森問屋町配送(株)の第3回取締役会が開かれ、提出案件全てが原案どおり承認された。

令和4年度税制改正大綱のポイント等について学ぶ 税務研修会

3月18日(金)、問屋町会館において第3回税務研修会が青森法人会と共催で開催された。青森税務署の奥山審理専門官が講師を務め、組合員12名が参加した。

主な研修内容は次のとおり。

①賃上げ促進税制

前年対比で増加させた給与額に一定割合を乗じた金額を税額から控除できる制度。各種要件をクリアすれば、増加させた給与総額の内、大企業では最大30%、中小企業では最大40%の金額が控除対象となる。

②少額の減価償却資産の取得価額損金算入規定等の見直し

少額資産の損金算入制度について、貸付の用に供する資産が対象から除外される。

少額資産の損金算入制度とは次のとおり。

(1)使用可能期間が1年未満又は取得価額が10万円未満のものとは全額損金算入できる。

(2)取得価額が20万円未満のものは3年間の事業年度で均等償却できる。

(3)取得価額が30万円未満のものは、取得価額の合計額300万円を限度として全額損金算入できる。

研修会では、その他、電子帳簿保存法についても説明された。



税務研修会

東北卸団地女子職員研修会

東北卸商業団地連絡協議会では、3月4日(金)に事務局女子職員研修会を(協)仙台卸商センターで開催。東北・関東各県の卸団地から6名の事務局女子職員が参加した。

研修会は、当研修会初となるワークショップ形式で行われた。東北学院大学の柳井教授を講師に招き、「これから組合事務局と自らの在り方について」をテーマに各団地の現状や課題点を共有。解決策などについて話し合い、活発な情報交換が行われた。



ワークショップ形式で研修

業務報告

主要事項

3月 3日▽問屋町経営同友会第4

8日▽問屋町ビジネススクール開校10周年記念講演会・祝賀会

15日▽金融審査会 16日▽第1回SDGs推進管理委員会 17日▽国内経済視察会(19日)

18日▽第3回税務研修会 22日▽安協問屋町支部無事故・無違反コンクール抽選会

28日▽第9回理事会 28日▽青森卸センター(株)第3回取締役会 28日▽青森問屋町配送(株)第3回取締役会

30日▽防犯灯寄贈目録贈呈式

問屋町ビジネススクール

1日▽アイデアあふれる組織の作り方 9日▽営業初心者戦力化セミナー(会話のテクニック編)

15日▽決算書の読み方・活かし方(キャッシュフロー計算書編)①

17日▽決算書の読み方・活かし方(キャッシュフロー計算書編)②

24日▽新入社員研修① 25日▽新入社員研修②

経済雑感

第二五回

日本銀行青森支店

支店長 森本 喜和

前号に引き続き、日本銀行青森支店の森本支店長による経済雑感をお送りする。

前号では、青森商工会議所様の会報に掲載された記事「『学生と企業人の本音トーク』〜女子大生と若井会頭ら本音で語る〜」の中で女子大生方が語っている県内企業のイメージをご紹介し、私なりに感じたことを記しました。今回はその続きです。

前号の最後の部分で、女子大生方が「男女の機会均等や仕事と家庭の両立支援に対する県内企業の取り組みについて、十分な情報を入手できていない」と感じていることを紹介しました。その上で、私の意見として、「首都圏等の潜在的なUターン者にも認知してもらおうには、ホームページ等を通じたきめ細かい情報発信やオンラインでの会社説明会などが重要になる」と申し上げました。本号では、男女の機会均等や両立支援について、もう少し自分の考えをお伝えしたいと思います。



日本銀行 青森支店 支店長 森本 喜和 氏

第一に、限られた男性の視点だけで「この仕事は女性に向かない」と判断しない方がよいということです。日本銀行で採用の仕事を経験し、私生活でも社会人の娘を持つ私が思う

に、女性も様々な方がいらっしゃると思います(男性も然りです)。都会のデスクワークを好む女性もいれば、モノづくりや農業などに面白味を感じる女性もいます。それぞれの仕事の意義ややり甲斐を、分かりやすく、心に刺さる形で伝えることができるのであれば、潜在的な人材を掘り起こせると信じています。

第二に、両立支援策の充実をアピールするにあたっては、各種制度を設けるだけではなく、実際に利用しやすい環境を作り、それを就活生の側が納得できる形で伝えることが重要です。それには、利用実績を示すデータのほか、実際に制度を利用している職員の肉声を伝えることが効果的だと思います。

Advertisement for LSE (Life Support Egawa) featuring the text '物流界のトップランナー 株式会社 ライフサポート・エガワ東北' and contact information for the Aomori branch.

Advertisement for Gunze (Gunze Aomori Agency) featuring the text 'ガンゼ 青森県代理店' and '多田商店' (Tada Tenjo) with contact details.

Advertisement for Hokunensha (北燃商事株式会社) featuring the logo and contact information for the Aomori branch.

Advertisement for Taisei Industrial Co., Ltd. (大青工業株式会社) featuring the text '冷熱をデザインする' and contact information for the Aomori branch.

広島県の卸団地等を視察

組合では、3月17日から19日までの3日間、国内経済視察会を開催した。今回は、広島県の(協)ベータウン尾道、(協)広島総合卸センターなどを視察した。

ベータウン尾道は、昨年、創立50周年記念事業として共同冷凍倉庫に自家発電設備を導入し、非常時の電力供給体制を構築。また、倉庫の屋上には太陽光パネルも設置した。発電した電力は、自前の電線を介して組合会館にも供給されるようになっており、最大3日間の電力が自家発電のみで賄える。

広島総合卸センターは日本で2番目の組合員数を誇る西

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)伊藤園の大手支店長にお話を伺った。

同社はフロンティア製茶(株)として静岡県静岡市で昭和41年に設立し、昭和53年に商号を(株)伊藤園に変更。現在グループ企業は国内17社、海外24社あり、お客様第一主義の経営理念のもと、健康創造企業として世界中のお客様の健康に資する豊かな生活を支える世界のティーカンパニーを目指している。



ベータウン尾道視察

日本最大の流通拠点。現在、「まちづくり」を重点事業に位置づけ、景観事業等を通じてエリアの顕在化及びブランド力向上を図っている。組合創立40周年を機に組合のロゴマークを刷新し、名刺、封筒などのデザインを統一し、街

区サインや駐車場看板も統一デザインに順次更新している。また、組合員従業員向けのビジネススクールも組合で運営するなど、ハード・ソフトの両面から積極的に取り組んでいる。そのほか視察団一行は、尾道市にある日本初のサイクリスト向けに特化した複合商業施設ONOMICHIU2(オノミチユーツー)などを視察した。

方言川柳でSDGsへの理解深める

組合員のリコージャパン(株)青森支社では、社員のSDGsへの理解を深めることを目的に、SDGsをテーマにした方言川柳を社員から募集し



リコージャパン青森支社 SDGs方言川柳

た。同支社に在籍する全108人から133句が寄せられ、社内の人気投票で選考。「人だもの、わもなも違うのあだりめだ」の句が最優秀賞に選ばれた。同支社では、1次選考を通過した24の作品を社内ロビーに掲示して一般見学も受け、社内外にSDGsの普及啓発を図っている。



(株)伊藤園 支店長 大友 玲氏

います。生産された高品質茶葉は全量買い取りすることで、生産者の安定経営や雇用の創出などを実現し、持続的な農業の発展に貢献しています。また2030年までにペットボトルに使用するリサイクルの割合を100%にする(リサイクル)、さらなる容器包装の軽量化(リデュース)、生物由来素材・生分解性素材の使用を推進(リプレイス&リユース)、プラスチック資源有効活用のための分別収集の促進、清掃活動等の社会貢献活動(クリン)等の環境問題にも積極的に取り組んでいます」とアピール。

新境地での目標を伺うと「青森県民の健康づくりのお役に立ちたいと思っています。当社には、自然・健康・安全・良いデザイン・おいしいの5つの製品開発コンセプトがあり、その考えに基づき開発した製品には、体脂肪を減らす機能性のお茶や「1日分の野菜」といった野菜ドリンクなどがあるので、ぜひ試していただきたいです」と力強く語る。

問屋町については「面倒見のいい方が多い印象です。青森に来る前は無口な人が多いイメージでしたが、フレンドリーな方が多い印象に変わりました。会合で会う度に親切に話していたので、いろいろ話したいです」と笑う。

「趣味は観光巡り、温泉、グルメなどです。青森県民より青森に詳しくなることが目標です」と微笑む。

座右の銘は「着眼大局着手小局です。物事を全体的に大きく捉えて重要なものを見抜き、作業をするときは細やかなこと日々意識しながら、仕事を進めていきたいと思っています」と締めくくった。(50歳)

編集後記

問屋町ビジネススクールが開校して十周年その間の講座数は約四百、受講者数は約五千五百名となりました。当時副理事長だった西理理事長を委員長に「問屋町ビジネススクール構想策定委員会」を立ち上げたのが二〇二〇年六月。真に感慨深いものがあります。当ビジネススクールをお育ていただいた組合員の皆様、受講者の皆様、講師の先生方、スクール構想の生みの親の故山本青森公立大教授、ご助成いただいた青森市に、深甚な感謝の意を表します。ありがとうございます。転話題。

今回は問屋町ビジネススクール開校十周年記念講演会(演題「アフリカ」)を踏まえた勝ち残り戦略の内容についてです。講師は商工総合研究所・青木剛専務理事。最初に青木講師は「混沌とした時代に、最も危険なことは、混沌そのものではなく、昨日と同じ論理で行動すること」と演題の戦略のキーコンセプトを指摘。講演の大きなメッセージは次の三つです。①混沌とした時代に「従来と変わらない考え方」「変わらない経営手法」で行うのでは未来を大きく変えられない。②経営に、論理的な思考を持ち込もう。それは難しいことではなく、千年前の人々が気付いていた孫子の兵法(彼を知り己を知れば百戦して危うからず。彼を知り己を知らずば、勝一負す。彼を知らずして己を知らざれば、戦うことに危うし)と同じ論理だ。③経営環境をしつかりとみつめ、自社の強み・弱みや経営資源を理解したうえで、生き残る道を描こう。経営を「見える化」することは、社員や取引先にとっても理解しやすく、支援を得る助となる。以上です(藤本)

King is a partner of the printer company. Includes logos for Printing Supply, Printing Promotion, Printing Support, and Printing System, along with contact information for King Corporation.

Advertisement for K-Frontier Spirits Co., Ltd. (K-Frospro). Includes company logo, address in Aomori City, and services like traffic guidance equipment and uniforms.